

里山インキュベーター連続講座による 農山村起業の支援事業 活動報告



一般社団法人 ヤマノカゼ舎
理事 神田浩史

報告内容



団体紹介



活動概要



活動内容



まとめと今後の方向性

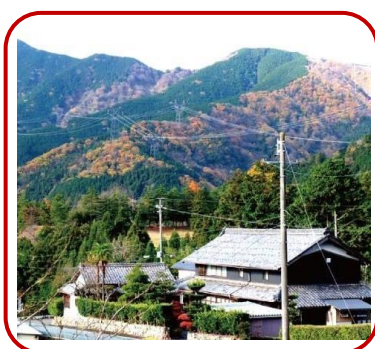
団体紹介 (一社)ヤマノカゼ舎

「里山資源を活用した起業者育成と揖斐川流域の連携」

経緯：

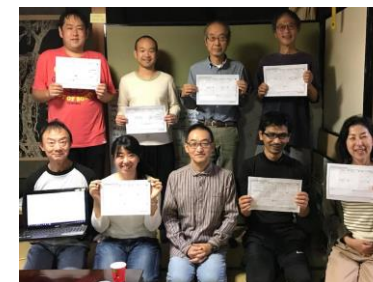
2014	里山インキュベーター構想
2015	「里山インキュベーター基本設計」研究会
2016	森林文化アカデミーと揖斐川町連携協定による派遣駐在員常駐 「里山インキュベーターいびがわ」事業スタート
2017	7月(一社)ヤマノカゼ舎設立総会 9月(一社)ヤマノカゼ舎法人登記
2018	4月「星降る古民家」取得

拠点：星降る古民家



主事業：里山インキュベーターいびがわ(2016-1018)

- 山の保存食カフェ創業に向けた取り組み
 - ブナ帯文化の「食暦」が原点(1990年代)
 - 揖斐川町の保存食予備調査(2017)
 - 保存食の試作ワークショップが大好評！(2017)
 - 里山SUNDAYSで月1回の保存食づくり(2018)
- 保存食から「暮らしなおし」の輪を広げたい！
 - 自然の恵みを「手間ひま」かけていただく暮らし
 - 皆で共同作業する「シェアエコノミー」
 - 保存食は「女性の自由時間」を生み出す知恵
 - 昔は非常食→「健康食」としての保存食へ
 - 保存食で「世界とつながれる」
 - 暮らしを「見直す・手直りする・繋がり直す」
 - きっかけとしての「保存食」



楽 里山インキュベーターの活動概要

- コンセプト
 - ローカルに生きる、ソーシャルに働く
- 対象
 - ホンキで里山起業を目指す人
- 定員
 - 10名
- プログラム構成
 - 通年6回の連続講座
- 関係団体
 - NPO法人 泉京・垂井
 - NPO法人地域の未来支援センター
- 参加費
 - ¥20,000 (通年)
- メディア
 - フェイスブックページ (フォロワー438人)

H30年度



里山インキュベーターいびがわ2018 実践講座
 「ローカルに生きる、ソーシャルに働く」
 "Live local, 受講者募集中! Work social."

about
 インキュベーターとは、起業家の育成を目的とする。里山インキュベーターいびがわは、里山と都市を結ぶ活動拠点である。泉京・垂井の自然環境と「里山」を軸とした地域振興を目的として、コミュニティによる経済活動の推進を支援する活動を行っています。

requirements
 【対象】ホンキで里山起業を目指す人(年齢不問)
 【定員】10名
 ※申込受付の順番により、募集定員に満たない場合があります。
 【参加費】通年20,000円
 ※申込書(郵付)申込
 ※郵送の場合は送料がかかります。

area
 里山インキュベーターいびがわの活動拠点は、岐阜県泉京・垂井の里山地域です。
 活動拠点は、里山と都市を結ぶ活動拠点である。泉京・垂井の自然環境と「里山」を軸とした地域振興を目的として、コミュニティによる経済活動の推進を支援する活動を行っています。

【主催】一般社団法人地域の未来支援センター
 【協賛】岐阜県「里山と都市を結ぶ活動拠点」【協賛】泉京・垂井(町)会
 【協賛】岐阜県「里山と都市を結ぶ活動拠点」【協賛】泉京・垂井(町)会

H28年度



里山インキュベーターいびがわ2018 実践講座
 揖斐川流域をめぐる旅
 →小さな生業の起こし方

【対象】ホンキで里山起業を目指す人(年齢不問)
 【定員】10名
 ※申込受付の順番により、募集定員に満たない場合があります。
 【参加費】通年20,000円
 ※申込書(郵付)申込
 ※郵送の場合は送料がかかります。

H29年度



生業(なりわい) 起こしの 社会実験

里山インキュベーターいびがわ2017
 ホンキで里山起業をめざす人へ

活動拠点は、里山と都市を結ぶ活動拠点である。泉京・垂井の自然環境と「里山」を軸とした地域振興を目的として、コミュニティによる経済活動の推進を支援する活動を行っています。



活動內容

【第1回】出張講演会・説明会①

2018年5月20日(日) 開催

- ▶ 講師：鵜飼宏成氏（愛知学院大学教授）「起業支援」
- ▶ 会場：岐阜市「カンダマチノート カフェ星時」
- ▶ 参加者：16名



- ▶ 講師：田口寿子（揖斐川町春日「麻処さあさ、春日古学び」）「田園回帰」
- ▶ 会場：名古屋市内「繊維会館ビル」
- ▶ 参加者：24名

【第1回】出張講演会・説明会②

2018年5月22日(火) 開催



【第2回】「揖斐川上流域ツアー」

2018年7月28日(土)-29日(日) 開催予定

- ▶ 会場：星降る古民家→揖斐川町内（春日・坂内など）
- ▶ 天候：台風のため開催中止
- ▶ 申込数：8名

- ▶ 会場：星降る古民家→揖斐川町内（春日・坂内など）
- ▶ 天候：晴れ
- ▶ 内容：
 - ▶ 導入講義：「揖斐川流域の稔豊社会」「複合的な生業で生きる山村の知恵」
 - ▶ 見学（坂内・諸家の里、徳山会館）
 - ▶ 実習（集落の共益作業お手伝い：ブランコのペンキ塗り）
 - ▶ 安兵衛の投げ銭ライブ参加、自炊料理で懇親会
 - ▶ 春日地区「笹又の地蔵まつり」参加
 - ▶ 参加者ふりかえり
- ▶ 参加者：10名（愛知県、岐阜県内）

【第3回】「地域の作法」を学び、
揖斐川上流の人と資源に出会う

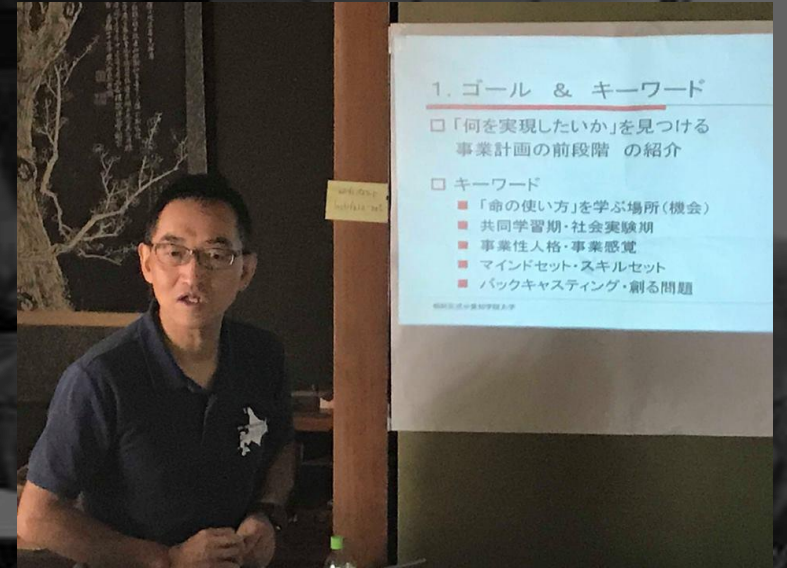
2018年8月24日(金)-26(日) 開催



【第4回】起業のための未来デザイン

2018年9月23日(土)-24(日) 開催

- ▶ 講師：鵜飼宏成氏（愛知学院大学経営学部教授）
- ▶ 会場：星降る古民家
- ▶ 天候：晴れ
- ▶ 参加者：8名



- ▶ 講師：鵜飼宏成氏（愛知学院大学経営学部教授）
- ▶ 会場：星降る古民家
- ▶ 天候：晴れ
- ▶ 参加者：8名



【第5回】「社会実験のまとめと評価」

2018年12月22日(土) 開催

里山インキュベーター
検証結果ワークショップ
自分の中心商品・中心事業の仮説の精度は？

2018年12月22日 於：星降る古民家
愛知学院大学 地域連携センター/経営学部 鶴飼宏成

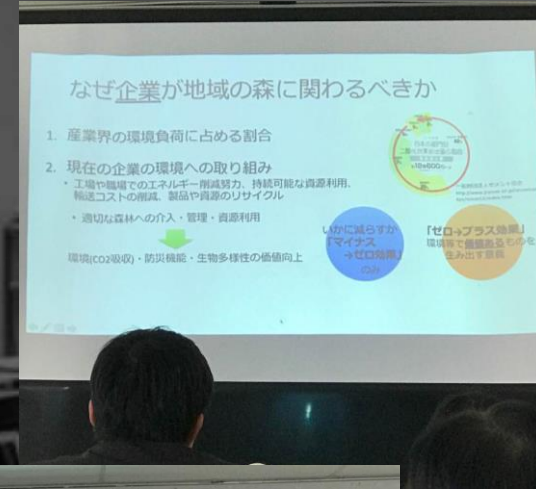
①約2か月間で、何が検証できたでしょうか？
②まず確認です。誰に尋ねましたか？その人たちの最初の声はなんでしたか？
③いくらで買ったとあるいは、利用するとしたと答えましたか？それは予想通りでしたか？
④その値段で買うと答えた人、おそらく買うと答えた人は、それぞれ、何割ほどいましたか？
⑤その方たちは、年間で何度ほど買う意思を示しましたか？
⑥その人たちは、同じような効果の得られる他のどのような製品・サービスを利用していましたか？あるいは、まったく類似品は無いといわれましたか？
⑦その⑥満足度は、どのような反応でしたか？あるいは、類似品が無い場合、具体的にどのようなこと語っていましたか？
⑧それぞれの特長ごとに、顧客の属性を教えてください。ペルソナを描けますか？
⑨貴方の商品を他の使途に紹介する、もしくは、絶対自分が最初に購入すると考えている人はどの程度いましたか？
⑩その他、インタビューの中で気になった点、情報等があれば、それは何でしたか？

(8)	(9)
-----	-----

【第6回】起業プラン発表会とマッチング交流会

2019年1月20日(日) 開催

- ▶ 会場：大垣市「ソフトピアジャパンセンター」中会議室（13:30～16:30）
- ▶ 天候：晴れ
- ▶ 発表者：6名
- ▶ 聴講者：22名
 - ▶ 西濃エリアを中心に滋賀、大阪からの住民有志、行政機関、中間支援団体など



✓ まとめ

通年活動結果



まとめと今後の方向性

- ▶ 計画した内容は、天候による一部中止があったものの他の回に 内容を移行する対応により、ほぼ実施できた
- ▶ 参加者の目標10名に対し平均8名。通年連続の受講者が少なかったが、起業者育成目標5名に対し、6名が起業プラン発表に 到達した
- ▶ 起業者とのマッチング交流会で、来年度も同様の講座開催と参加を希望する声があった
- ▶ 連携団体と評価会議を実施（2018年12月26日、於垂井町みずのわ）
→前半3回をSTEP1、後半3回をSTEP2とする等の改善案